

国語課題③

【用意するもの】国語の教科書、六年の国語のノート、辞書などの調べられるもの

☆国語のノートの新しいページを開きます。一行目に **3** と書きます。

「帰り道」③

一、次の言葉の意味を調べ、ノートに書きます。

【意味調べ】

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| ・ やんちゃ | ・ はてしない | ・ こがね色 | ・ みぞおち |
| ・ 白ける | ・ 境地 | ・ 新緑 | |
| ・ 天気雨 | ・ 異物 | ・ ぼしが悪い | ・ しじもみ |
| ・ 小言 | ・ 乱打 | ・ 見入る | ・ 険しい |

二、次の言葉を使って文章を作りましょう。

「ちんぷ」…

「すっかさ」…

今日の国語の学習はこれで終わります。お疲れ様でした。

春のいづき 六年 組

音読印

◎教科書の本文を、声に出して読んでみましょう。

◎教科書の上段に言葉がたくさん並んでいますが、半分以上、見たことのない言葉ではないでしょうか。辞書で調べてみましょう。

*子供用の辞書では、載っていない言葉が多いです。大人用の辞書を使ってください。

時間内で全部調べるのが無理そうな人は、興味がある言葉から調べてみてください。

*どの言葉も、「二十四(節)気の一。〇月〇日」。と書いてあると思いますが、そのほか、省略してあります。「じつな時期のじつが」だけ記録すればよいです。

立夏 りっか	小満 しょうまん	芒種 ぼうしゅ	夏至 げし	小暑 しょうしょ	大暑 たいしょ	立秋 りっしゅう

大寒 だいかん	小寒 しょうかん	冬至 とうじ	大雪 たいせつ	小雪 しょうせつ	立冬 りっとう	霜降 そうこう	寒露 かんろ	秋分 しゅうぶん	白露 はくろ	処暑 しょしょ

話し言葉と書き言葉 六年 組

音読印

◎教科書の本文を、声に出して読んでみましょう。

◎教科書に書かれた「話し言葉」と「書き言葉」の違いを、左の表に整理して書きましょう。

*話し言葉と書き言葉の特徴で、対応するものを縦に並べると、分かの易いですよ。

話し言葉	書き言葉

(例)

話し言葉	書き言葉
○音声で表す言葉。	○文字で表す言葉。
○すぐに消えてしまう。	○消えずに残る。
○(声の大きさや上げ下げ、間の取り方などで、)自分の気持ちを表すことができる。	
○実物を示しながら、こそあど言葉で表せる。	
○相手に応じて、敬語を使うかどうか、方言か共通語かなど、言葉遣いを選ぶ。	○だれが読んでも分かるように、共通語で書く。
○言い間違いをすぐに直せる。 ○「ええと」のような言葉がはさまれたり、語順が整わなかったりすることもある。	○大抵は書き直せないで、誤解 <small>ごかい</small> を与えないように、主語を明らかにしたり、誤字 <small>ごじ</small> がないようにしたりする注意が必要。 ○語順や構成を整えるのがふつう。

◎二つを並べてみると、違いがよく分かると思います。

ものを話すとき・書くときに注意しなければいけないことが、見えてきませんか？

◎最後にもう一度、教科書の本文を、声に出して読んでみましょう。

